

## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：高松 諭

<b>事業名</b>	空港・港湾等アクセス 一般県道 <small>いまいちふくだせん たかえ</small> 今市福田線（高江工区）	<b>事業区分</b>	地方道	<b>事業主体</b>	仙台市
<b>起終点</b>	自：宮城県仙台市宮城野区岩切 <small>せんだい みやぎの いわきり</small> 至：宮城県仙台市宮城野区岩切 <small>せんだい みやぎの いわきり</small>			<b>延長</b>	1. 1 km
<b>事業概要</b>					
<p>一般県道今市福田線は、仙台塩釜港と仙台貨物ターミナル駅（新駅）とを連絡する延長約8 kmの幹線道路であり、仙台貨物ターミナル駅（新駅）と仙台港IC、国際拠点港湾「仙台塩釜港」を結ぶ物流ネットワークの強化に資する重要な路線である。</p> <p>本事業は、その路線における2車線区間の4車線化を行うものである。</p>					
H27年度事業化		H6年度都市計画決定		R2年度用地着手	
R1年度工事着手					
<b>全体事業費</b>		約40億円		<b>事業進捗率</b>	
				約74%	
<b>供用済延長</b>		— km			
<b>計画交通量</b>		13,000台/日			
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b>	<b>総費用</b>	<small>(残事業)/(事業全体)</small> 10/42 億円 事業費：9.0/42 億円 維持管理費：0.9/0.9 億円	<b>総便益</b>	<small>(残事業)/(事業全体)</small> 50/50 億円 走行時間短縮便益：46/46 億円 走行経費減少便益：2.7/2.7 億円 交通事故減少便益：0.75/0.75 億円
	<small>(事業全体)</small>				
<b>基準年</b>					
令和4年					
<b>感度分析の結果</b>					
<p><small>(事業全体)</small> 交通量：B/C=1.1~1.3(交通量 ±10%) <small>(残事業)</small> 交通量：B/C=4.5~5.5(交通量 ±10%)</p> <p><small>(事業全体)</small> 事業費：B/C=1.1~1.3(事業費 ±10%) <small>(残事業)</small> 事業費：B/C=4.6~5.6(事業費 ±10%)</p> <p><small>(事業全体)</small> 事業期間：B/C=1.1~1.2(事業期間±20%) <small>(残事業)</small> 事業期間：B/C=5.0~5.1(事業期間±20%)</p>					
<b>事業の効果等</b>					
<p>本事業は（一）今市福田線の（主）仙台松島線との交差部から1.1km区間において2車線から4車線に拡幅する事業であり、当該箇所を整備することにより、トラック輸送と港湾との輸送モード間の接続が強化されるなど生産性向上が期待される。</p>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業説明会を行い、周辺住民と合意形成を図っている</li> </ul>					
<b>事業評価監視委員会の意見</b>					
事業継続を妥当と認める。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
周辺環境等に特に変化はない。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
用地取得率約80%、事業進捗率約74%					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
早期完了を目指し、工事を推進していく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
路盤材、舗装合材に再生材を使用することにより、コスト縮減に努める。					

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。